

平成28年4月22日

日本生命保険相互会社

インフラファンド投資枠の設定について

～インフラ投資領域におけるグローバルな投資態勢の構築～

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信、以下「当社」）は、今般、子会社であるニッポンライフ・グローバル・インベスターズ・アメリカス・インク（以下「NLGI アメリカ」）及び、ニッポンライフ・グローバル・インベスターズ・ヨーロッパ・ピーエルシー（以下「NLGI ヨーロッパ」）とともに、インフラエクイティ・ファンド・オブ・ファンズについて、400億円の投資枠を設定しました。

【主な投資対象領域】

- ・ 公益インフラ（発電所、送配電網、上下水道等）
- ・ 交通インフラ（空港、道路、港湾等）
- ・ 社会インフラ（学校、病院、裁判所等）

当社はこれまで、株式や債券等の伝統的な資産に加え、プライベートエクイティ、海外不動産、ヘッジファンド等のオルタナティブ資産領域においては、海外運用拠点とともに投資機会を発掘・選別する態勢を構築し、運用力の強化に努めてまいりました。今般強化するインフラ投融資に関しては、ファンド投資や海外運用機関への人材派遣等を通じ、専門スキルの習得に努めてまいりましたが、今後さらなる投資機会を獲得すべく、国内生命保険会社では初めて、自社リソースによりグローバルなインフラファンド投資態勢を構築しております。

当社は3カ年経営計画（2015－2017）において、3～5年で最大1兆円の成長・新規領域への投融資を目指しております。なかでも、インフラ投融資は、社会公共性や長期投資といった観点から生命保険会社の資金特性との親和性が高いことに加え、各国におけるインフラの更新ニーズや、財政健全化のための民間資金活用ニーズを背景に、今後更なる市場拡大が見込まれる領域です。今後も、上記を含めインフラ領域への投資については、国内外を問わず取組みを推進してまいります。

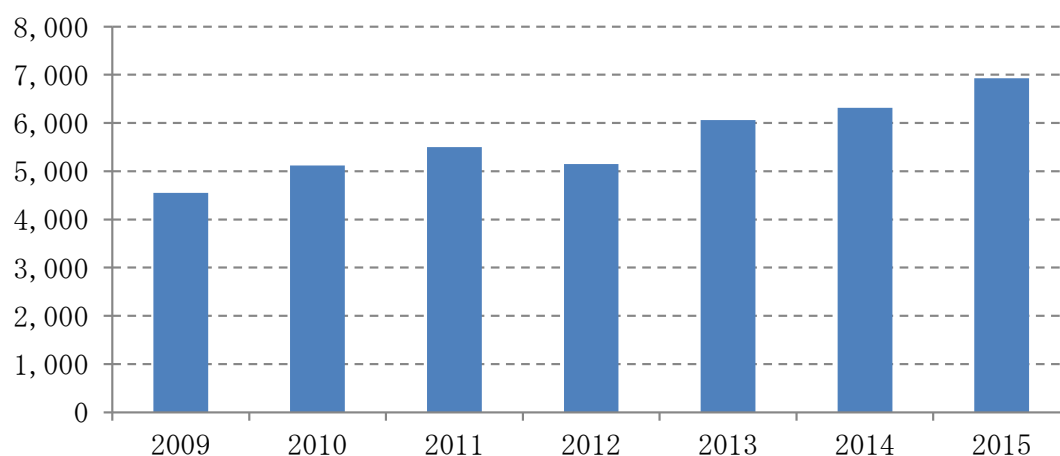
なお、国内においても、新関西国際空港等、民間資金を活用した公共インフラの整備が進められており、海外インフラファンド投資を通じて獲得したノウハウを国内インフラ投融資にもいかすなど、今後もより一層、資産運用力の強化を推進してまいります。

(ご参考)

【インフラ投融资市場規模】

- ・ I J グローバル社によれば、2015年の全世界におけるインフラ投融资額は約7,000億米ドル(約84兆円)。直近5年間の年平均成長率は6%。

(単位：億米ドル)



【NLGI アメリカの概要】

名称	ニッポンライフ・グローバル・インベスターズ・アメリカス・インク (英名：Nippon Life Global Investors Americas, Inc.)
本社所在地	277 Park Avenue, 34th Floor, New York, NY 10172, U.S.A.

【NLGI ヨーロッパの概要】

名称	ニッポンライフ・グローバル・インベスターズ・ヨーロッパ・ピーエルシー (英名：Nippon Life Global Investors Europe PLC)
本社所在地	1-5 Queen Street, London EC4N 1SW, U.K.

以上